



自由民主党議員団  
大内 尚平

時給2万円のアドバイザー

問 にぎわい創出事業の決算額は、予算時と比べ、大幅な節の組替えが行われている。これでは内容が異なり、予算審議の意味がない。議会に対し、予算執行段階における実施方法の変更まで報告する必要はないと考

えているのか。

答 予算審議時には、事業実施方法の細部まで詰めていない部分があった。事業実施にあたって実効性ある方法を検討し、部の権限の範囲内で予算流用を行い、対応した。今後、予算審議の段階できちんとした内容で臨みたい。

問 区のイメージアップに関する企画と事業実施のために、イメージアップアドバイザーを設置している。このアドバイザー契約は日時を決めない長期の派遣依頼となっている。契約の方法として適切か。

答 今回は、必要なときに依頼するということで、契約ではなく、依頼という形式をとった。

問 アドバイザーの報償費

は時間単価2万円、支払上限350万円と、考えられないほど高い。根拠は。答 依頼内容の専門性に鑑みて設定した。

問 積算根拠の希薄さ、予算の組替え、業者指定による契約、仕事の進め方など、今回の決算には多くの疑問がある。中野区職員倫理条例、コンプライアンスに照らし、執行機関の自浄能力に期待したい。今後、改善に取り組めるか。

問 普通学級の中で特別な支援が必要な子どもたちへの対応は、普通学級の担任だけでは限界がある。先生や学校だけに頼らず、区として、きめ細かい支援体制

を構築する必要があるのではないかと。

答 全校に特別支援教室を設置し、専門相談員や教員が巡回して、きめ細かい支援を行う考えである。



無所属  
近藤 さえ子

10か年計画の改定  
問 政策研究機構での調査研究の成果は、10か年計画に反映されているのか。介護が必要な高齢者と商店街を結び配達システムの構築などが必要と思うが。

答 計画には反映した。今後高齢者ニーズ、商店街のあり方について研究する。処遇に反映させている。



自由民主党議員団  
北原 ともあき

沼袋周辺の防災まちづくり

問 中野水再生センター東側の歩道は、年内に完成する。南側は法務省矯正研究所の扉があるため歩道がない。早期に設置すべきではない。法務省や関係機関との交渉を進め、早期に整備していく。

問 広域避難場所である平和の森公園地区は、防災まちづくりとして道路の整備

予定路線が数多くあるが、整備が進んでいない。進捗よく状況と今後の見通しは

答 新設の1路線は完了しているが、その他は部分的な整備になっている。来年度は、さらに1路線が開通する見通しである。

問 西武新宿線沿線のまちづくりや地域の関心が高い防災力の向上のため、この地域一帯のまちづくりを着実に進める必要があると思

問 歴史民俗資料館には、一級の歴史文化資料があるが、一部は急速に劣化している。早急な調査し補修すべきでは

問 歴史文化遺産の保存と活用

問 歴史文化遺産の継承は難しいため、支援が必要では

うが、区長の決意は。

答 沼袋駅周辺は、平和の森公園周辺の防災まちづくりとの関係も重要であり、区民の理解、協力により、強力に進めていきたい。

問 資料の取り扱い、学芸員が行う必要がある。人材の有効活用や民間活力の導入なども視野に入れ、適正な運営を図っていく。

問 質の高い行政サービスを迅速に提供するには、指示待ちの「依存型」ではなく、自ら考え行動を起こす「自律型」の人材の活躍が不可欠だが、区の現状は。

答 事業部制の導入により、やる気ある人材が活躍できる環境は整っている。

問 区民満足度向上のためには、仕事や職場に対する職員満足度の向上も重要である。現状を把握するため、全庁的に職員の意識調査を行うべきではないか。

答 面接を通じて職員意欲や能力の把握に努める。



無所属  
佐藤 ひつひ

用地取得・売却の考え方

問 20年間も野方一丁目用地が放置されたのはなぜか。答 整備困難な状況だった。問 10か年計画で用地整備の考えをどう整理したのか。答 総合的に検討し活用が

見込めないものを選定した。

問 学校の教員向けに精神疾患の研修を行うべきでは

問 今後進めていきたい。効果を上げているスクールソーシャルワーカーを

問 区長のマニフェストと10か年計画について

問 インクルーシブ教育と特別支援教育について

問 区民満足度向上のためには、仕事や職場に対する職員満足度の向上も重要である。現状を把握するため、全庁的に職員の意識調査を行うべきではないか。

問 面接を通じて職員意欲や能力の把握に努める。



無所属  
おもてなし 有子

食品衛生監視指導の充実

問 個人経営や夜間営業の飲食店で食中毒が発生したが、指導を行っていたのか。答 毎月一回行うなどの対象にはなっていない。この声

問 おもてなし運動は5年を経過したが、職員の区民に対する無礼な態度や実務知識の欠如などを区民の声で指摘されている。この声をどう受け止めているのか。

問 不適切な対応があったことは承知しているが、苦情は減少している。運動の趣旨を職員に徹底していく。

問 区民満足度向上のためには、仕事や職場に対する職員満足度の向上も重要である。現状を把握するため、全庁的に職員の意識調査を行うべきではないか。

問 面接を通じて職員意欲や能力の把握に努める。



無所属  
林 まさみ

環境施策

問 (仮称)地球温暖化対策地域協議会には環境活動をしている人に入ってもらい、地域の人と環境について話をする場にすべきでは。

問 一人ひとりの環境行動が区民全体の運動として広がっていくように、広く参加を募っていきたい。

問 今後の中野駅前開発などによるCO2排出の責任は誰が負うのか。答 開発事業者可能な限

**「区議会だより」は各戸配布しています**

区議会だよりは、各戸配布により区民みなさんのお手元にお届けしています。また、区施設や駅の広報スタンドなどでも手に入れることができます。ご利用ください。

問合せ  
区議会事務局  
電話3228-5585

